

根室市社会教育施設の長寿命化計画（個別施設計画）



令和3年3月

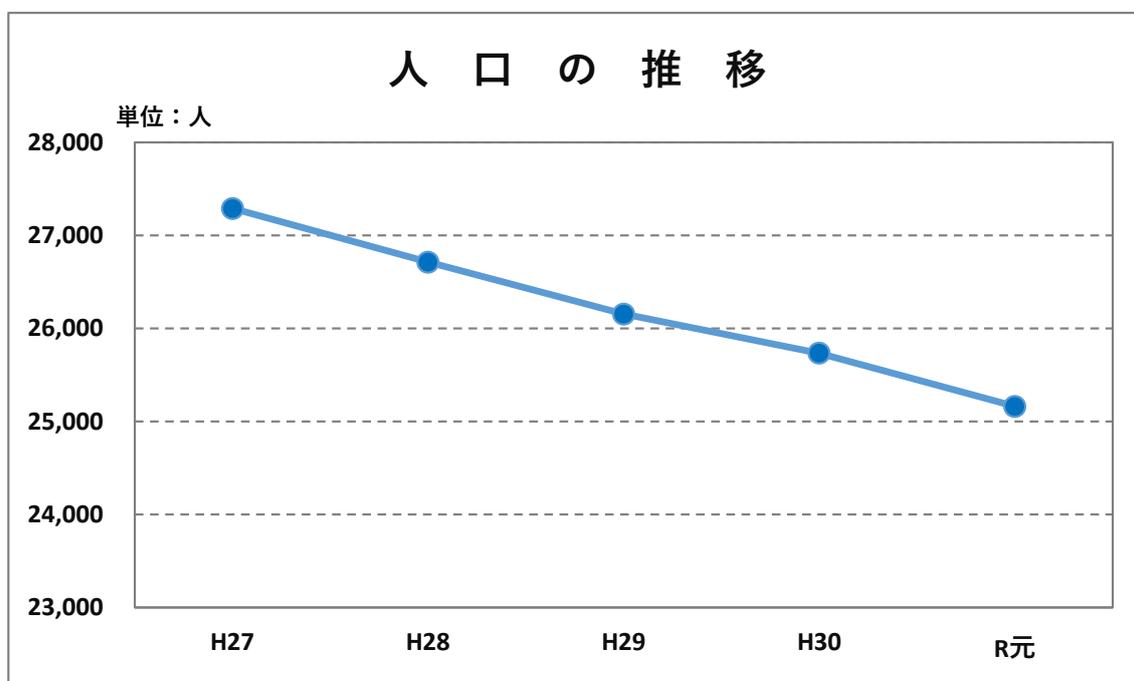
根室市教育委員会

（１）社会教育施設の長寿命化計画の背景・目的等**① 背景**

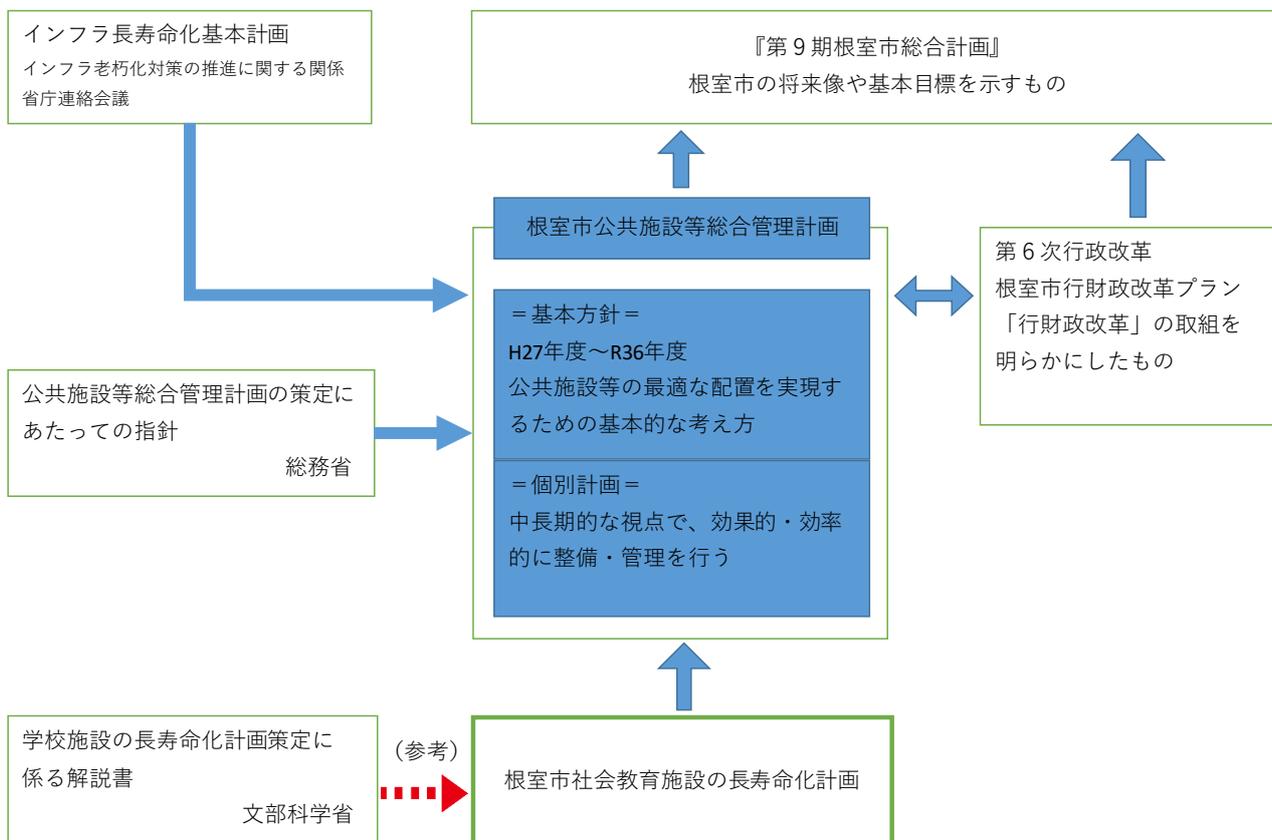
根室市の社会教育施設は、昭和 40 年に人口が 49,000 人を超え、人口増加に伴う市民ニーズに合わせて集中整備され、全公共施設面積の 8.2%以上の面積を有しています。

その後、昭和 44 年頃から人口は減少の一途をたどり、令和 2 年 12 月 31 日現在の人口は 24,858 人（外国人住民含む）とピーク時（昭和 41 年度 49,896 人）の約 49.8%にまで減少しています。

また、社会教育施設の全体面積の約 63%が築 30 年以上と老朽化しており、施設の耐震化、大規模改修等への対応など、市民が安心して学ぶことができる社会教育環境の充実とともに災害時の避難所としての役割を有していることから、施設の適正な維持管理が求められています。

**② 目的**

本計画は根室市総合計画及び根室市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）の考え方を踏まえ、社会教育施設の老朽化対策、社会教育環境の質的改善も考慮しながら、改修・建替え等を検討するための詳細診断により優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定します。



③ 計画期間

本計画は令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

ただし、計画の策定及び更新した日から5年を超えない期間ごとに社会情勢の変化や教育施策の進捗状況を検証し、その結果に基づいて見直しを行います。

また、実施・実行については、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築します。

④ 対象施設

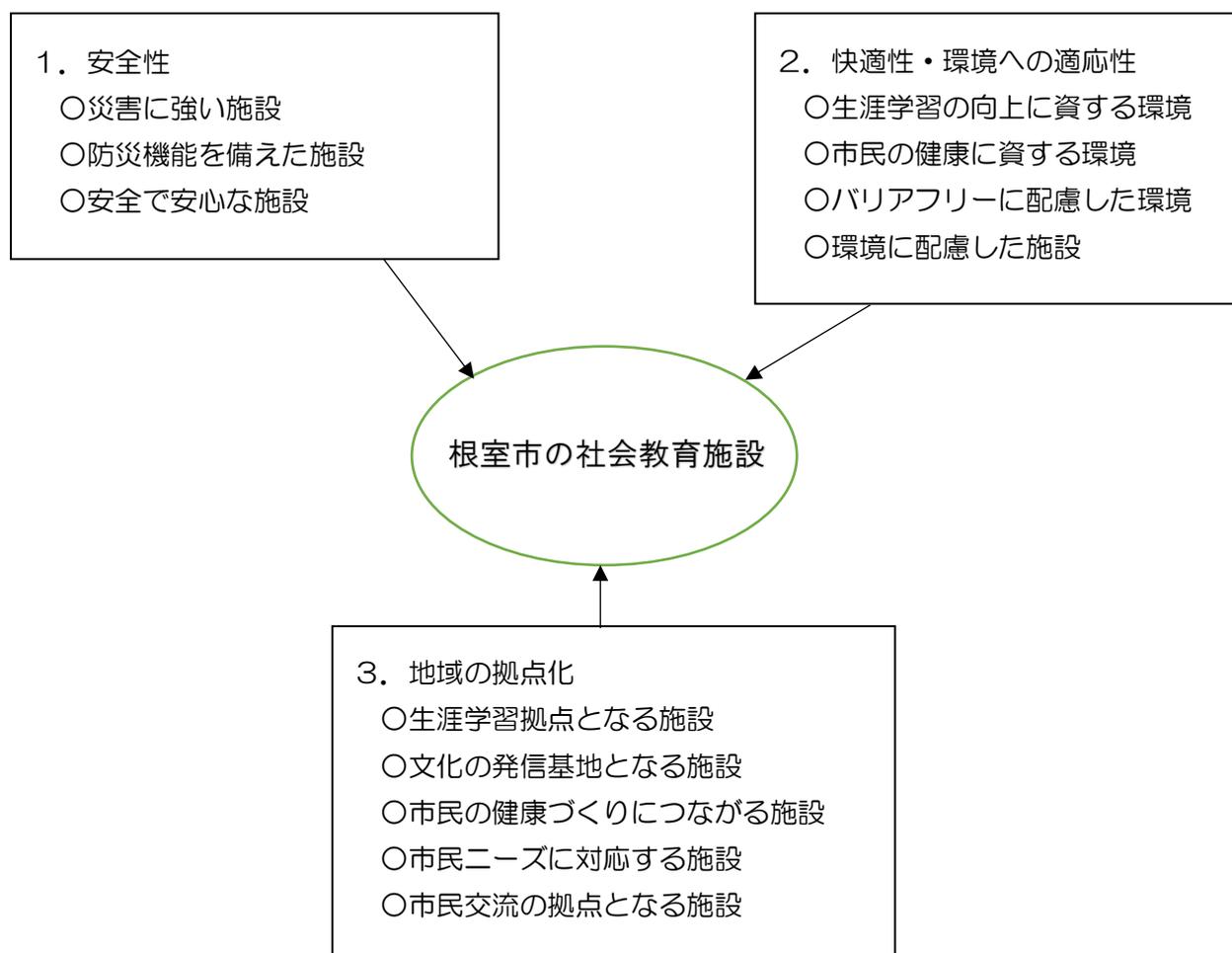
	名 称
1	総合文化会館・公民館
2	図書館
3	図書館バス車庫
4	歴史と自然の資料館
5	和田屯田記念館（和田屯田兵村の被服庫）
6	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（西和田）
7	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（温根沼）
8	別当賀夢原館
9	旧駒場児童館
10	青少年センター
11	歯舞スポーツセンター
12	市営アイスホッケーリンクハウス
13	屋内相撲場
14	温水プール
15	武徳殿
16	総合運動公園管理棟
17	運動公園テニスコートクラブハウス
18	パークゴルフ場管理棟
19	パークゴルフ場ユニットハウス
20	市営スケートリンクハウス管理棟
21	市営スケートリンクハウス機械倉庫
22	市営ゲートボール場管理棟
23	市営テニスコートクラブハウス
24	総合体育館
25	その他屋外施設

（２）社会教育施設のめざすべき姿

市民の多様化する生涯学習ニーズや世代を超えた交流、生涯スポーツ社会に対応するために、社会教育施設には、安全で安心して利用できる機能に加えて、施設の快適性はもとより環境に配慮した取り組みが必要であります。

また、公共施設として災害発生時の避難所機能も重要であり、耐震化対策をはじめ防災機能強化も大きな課題であります。

これらを踏まえたうえで市民の様々な活動の意欲向上と交流拠点となるべく、施設の整備と充実を図ってまいります。



（３）社会教育施設の実態

① 社会教育施設の運用状況・活用状況等の実態

１）対象施設一覧

本市には、以下のとおり合計 36 の社会教育施設があります。
その延べ床面積は 197,900 ㎡になります。

	施設名	建設年	延床面積
1	総合文化会館・公民館	平成 4 年	7,233 ㎡
2	図書館 （旧公民館を改修し平成 6 年 5 月から現在に至る）	昭和 49 年	2,433 ㎡
3	図書館バス車庫	平成 6 年	33 ㎡
4	歴史と自然の資料館 （旧海軍施設から花咲港小学校、資料保存センターを経て平成 16 年 4 月から現在に至る）	昭和 17 年	904 ㎡
5	和田屯田記念館（和田屯田兵村の被服庫）	明治 18 年	165 ㎡
6	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（西和田） （旧和田小学校を平成 18 年 7 月から利用）	昭和 52 年	756 ㎡
7	歴史と自然の資料館附属収蔵庫（温根沼） （旧幌茂尻小学校を平成 28 年 12 月から利用）	昭和 53 年	297 ㎡
8	別当賀夢原館（屋外休憩施設、アウトドア倉庫含む） （旧別当賀小学校を改修し平成 15 年 4 月から現在に至る）	昭和 50 年	1,167 ㎡
9	旧駒場児童館	昭和 53 年	286 ㎡
10	青少年センター	昭和 45 年	2,963 ㎡
11	歯舞スポーツセンター （旧華岬小学校を改修し平成 27 年 10 月から現在に至る）	昭和 56 年	2,512 ㎡
12	市営アイスホッケーリンク	平成 元年	2,000 ㎡
13	市営アイスホッケーリンクハウス	平成 23 年	89 ㎡
14	市営球場	昭和 45 年	15,000 ㎡
15	屋内相撲場	平成 19 年	97 ㎡
16	温水プール	昭和 63 年	2,247 ㎡
17	武徳殿	昭和 36 年	317 ㎡
18	総合運動公園管理棟	平成 16 年	216 ㎡
19	総合運動公園パークゴルフ場	平成 16 年	20,743 ㎡
20	総合運動公園テニスコート	平成 12 年	5,637 ㎡

	施設名	建設年	延床面積
21	総合運動公園テニスコートクラブハウス	平成 14 年	99 ㎡
22	総合運動公園河畔グラウンド	平成 11 年	6,136 ㎡
23	総合運動公園サッカー・ラグビー場	平成 18 年	12,920 ㎡
24	運動広場	昭和 52 年	32,000 ㎡
25	パークゴルフ場	平成 6 年	48,876 ㎡
26	パークゴルフ場管理棟	平成 5 年	69 ㎡
27	パークゴルフ場ユニットハウス	平成 8 年	39 ㎡
28	厚床パークゴルフ場	平成 4 年	9,979 ㎡
29	歯舞パークゴルフ場	平成 20 年	5,847 ㎡
30	市営スケートリンク	平成 8 年	12,560 ㎡
31	市営スケートリンクハウス管理棟	平成 7 年	173 ㎡
32	市営スケートリンクハウス機械倉庫	平成 7 年	121 ㎡
33	ゲートボール場	平成 4 年	900 ㎡
34	市営ゲートボール場管理棟	平成 3 年	61 ㎡
35	市営テニスコート	昭和 52 年	2,986 ㎡
36	市営テニスコートクラブハウス	昭和 52 年	39 ㎡
合 計			197,900 ㎡

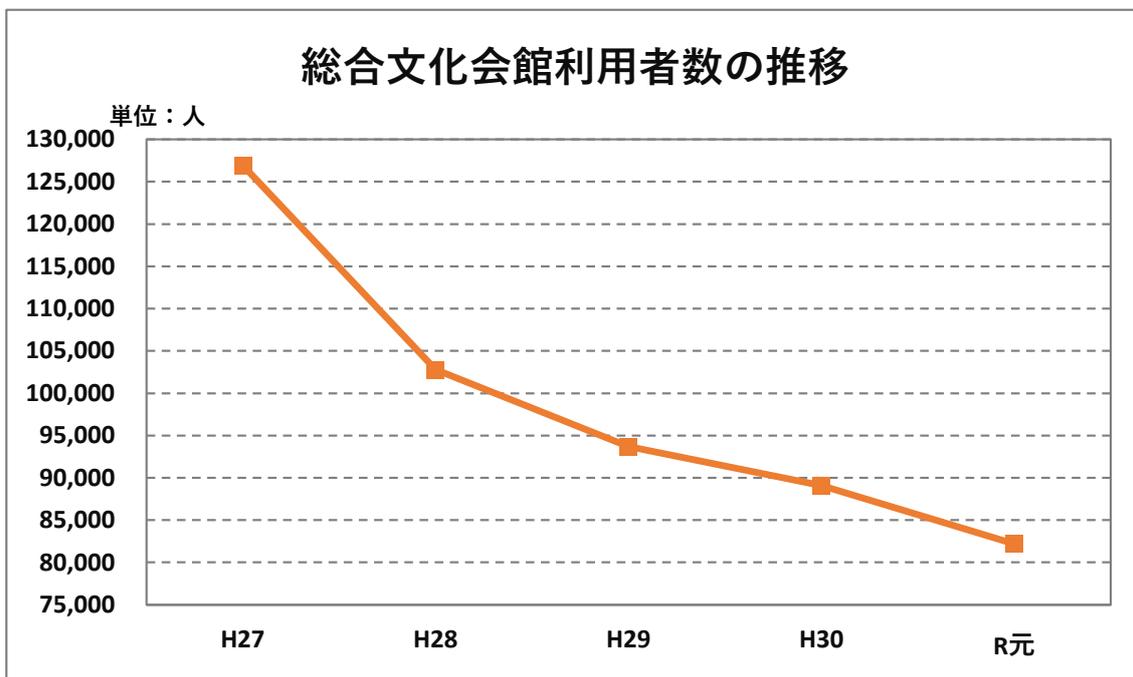
※面積は各施設の駐車場等を除く。

2) 主な社会教育施設利用者数の状況

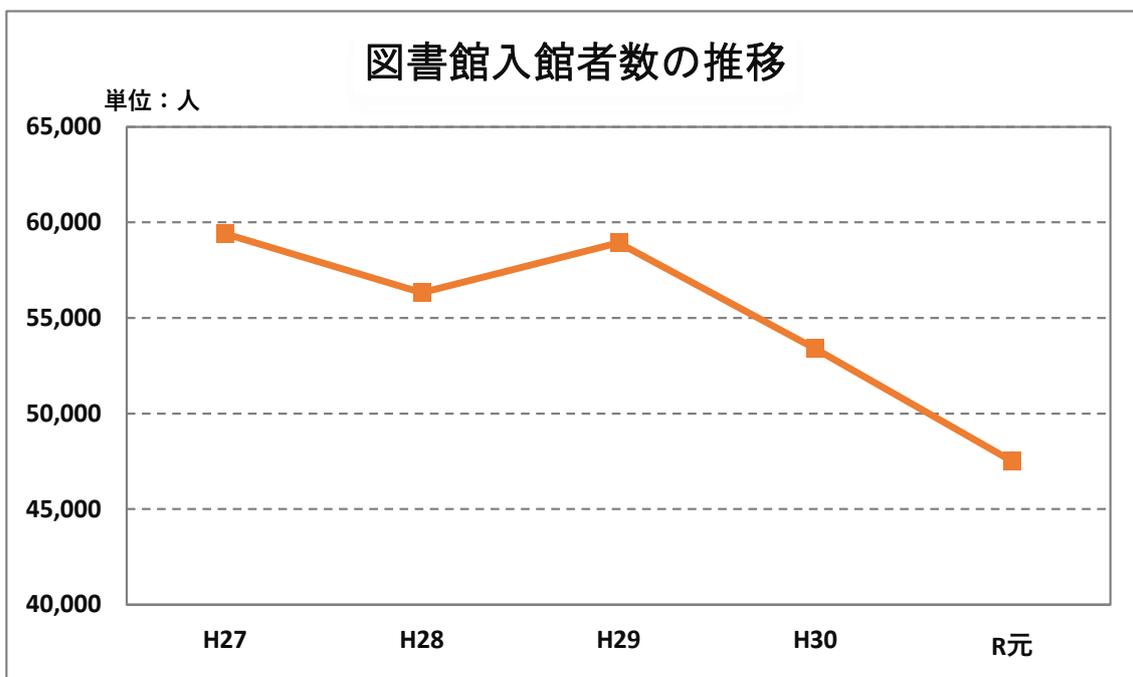
根室市の人口は、少子高齢化の影響で都市部に先行して生産年齢人口が減少し、若者の市外流出に歯止めがかからない状況であり、年々減少傾向にあります。

社会教育施設の利用者数においてもその影響が顕著にみられる中、社会情勢の変化による市民ニーズに対応が求められる一方で、社会教育施設の維持・管理費用が大きな負担となるなど、今後の施設運営・管理についても多くの課題が顕在化しています。

【利用者数：各年度の総数】

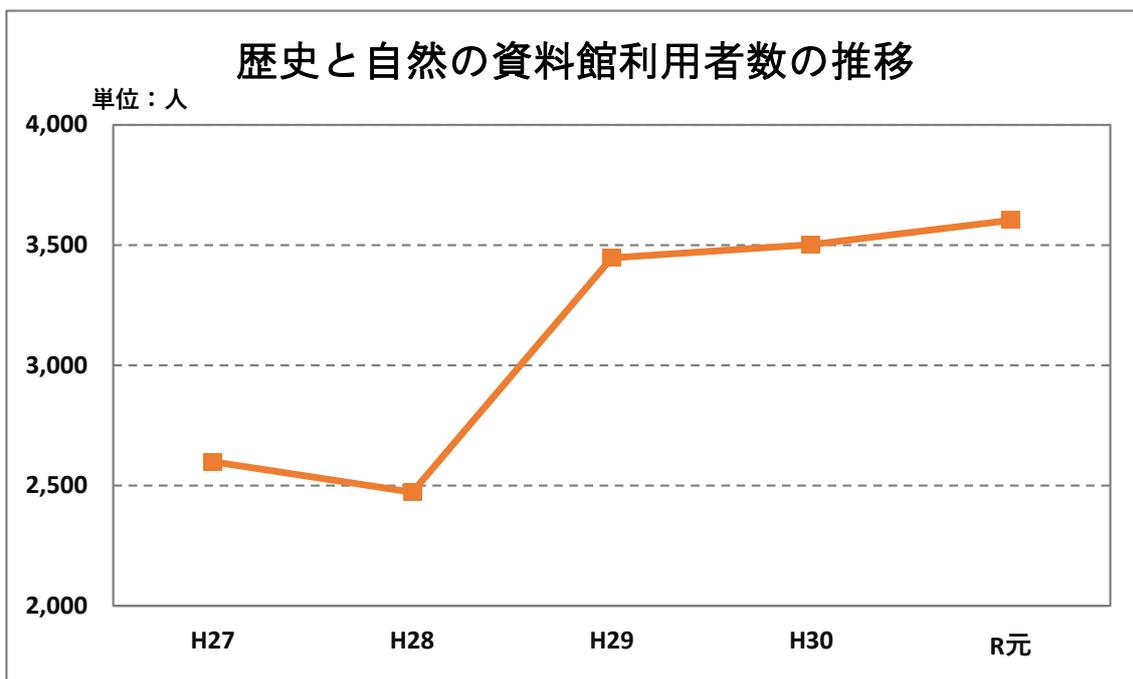


総合文化会館の利用者数は、利用者の高齢化の影響などから、サークル活動や発表機会が減少傾向にあり、利用件数及び一件当たりの利用人数が減少している。

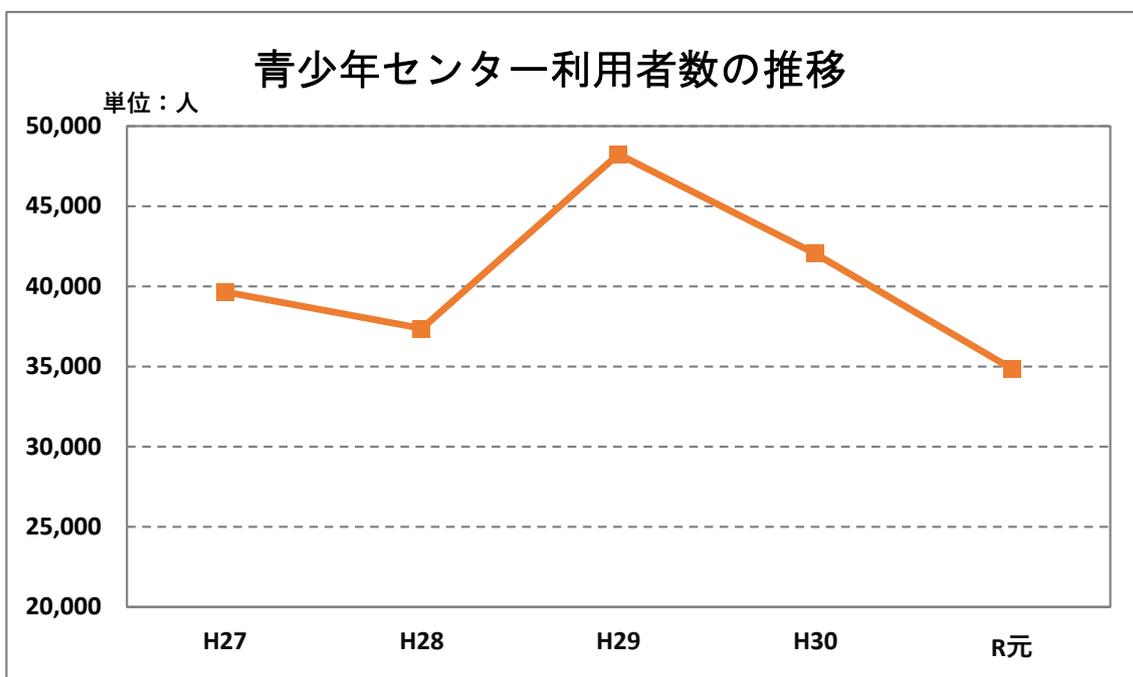


図書館入館者数については、様々なイベント等を計画し、一時的に入館者が増加している場合もあるが、人口減、少子化に伴い年々減少傾向である。

【利用者数：各年度の総数】

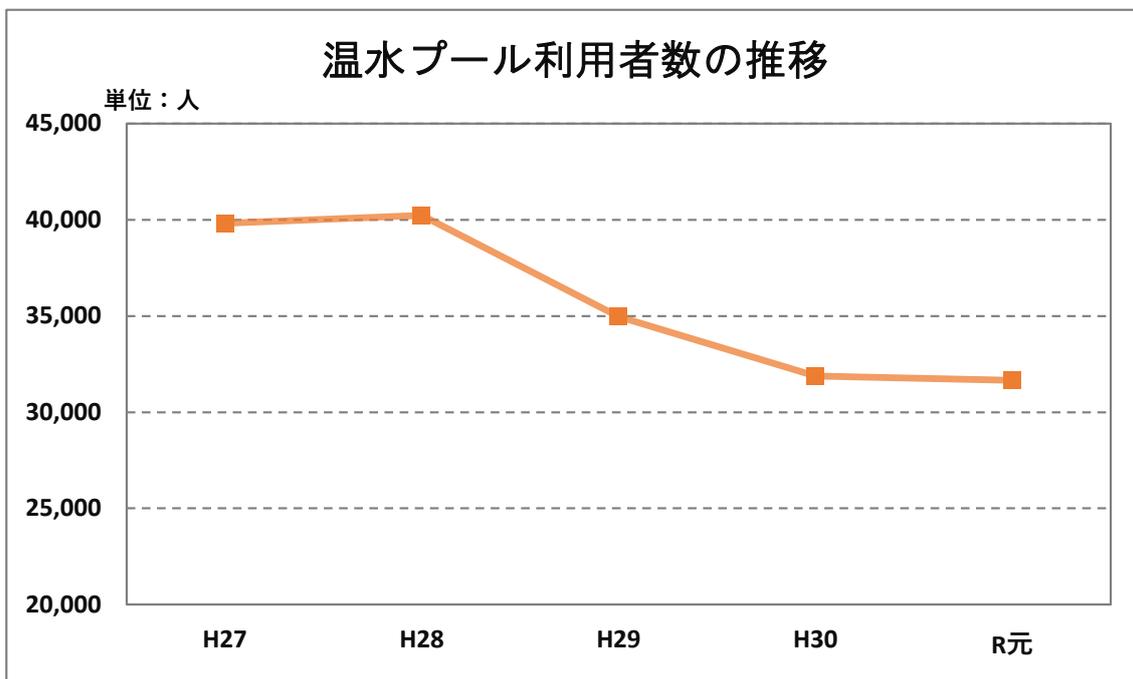


ランネモトチャシ跡が日本 100 名城に認定されたことなどから、チャシ跡ツアーなどで訪れる観光客により資料館の利用者数は増加している。



H29 より「第 1 回最東端ねむろシーサイドマラソン～北方領土を望む～」を開催したことにより一時的に増加したが、その後は人口減、少子化に伴い年々減少傾向である。

【利用者数：各年度の総数】



温水プール利用者数については、各大会の開催や各団体のクラブ活動により、一時的に利用者が増加している場合もあるが、人口減、少子化に伴い年々減少傾向である。

3) 社会教育施設の配置状況

社会教育施設は、下図のとおり配置しております。



4) 施設関連経費の推移

平成 27 年度から令和元年度の 5 年間の社会教育施設の関連経費は、約 12.1 億円で、5 年間の平均は約 2.4 億円／年となります。

【過去の施設関連経費】

(単位：円)

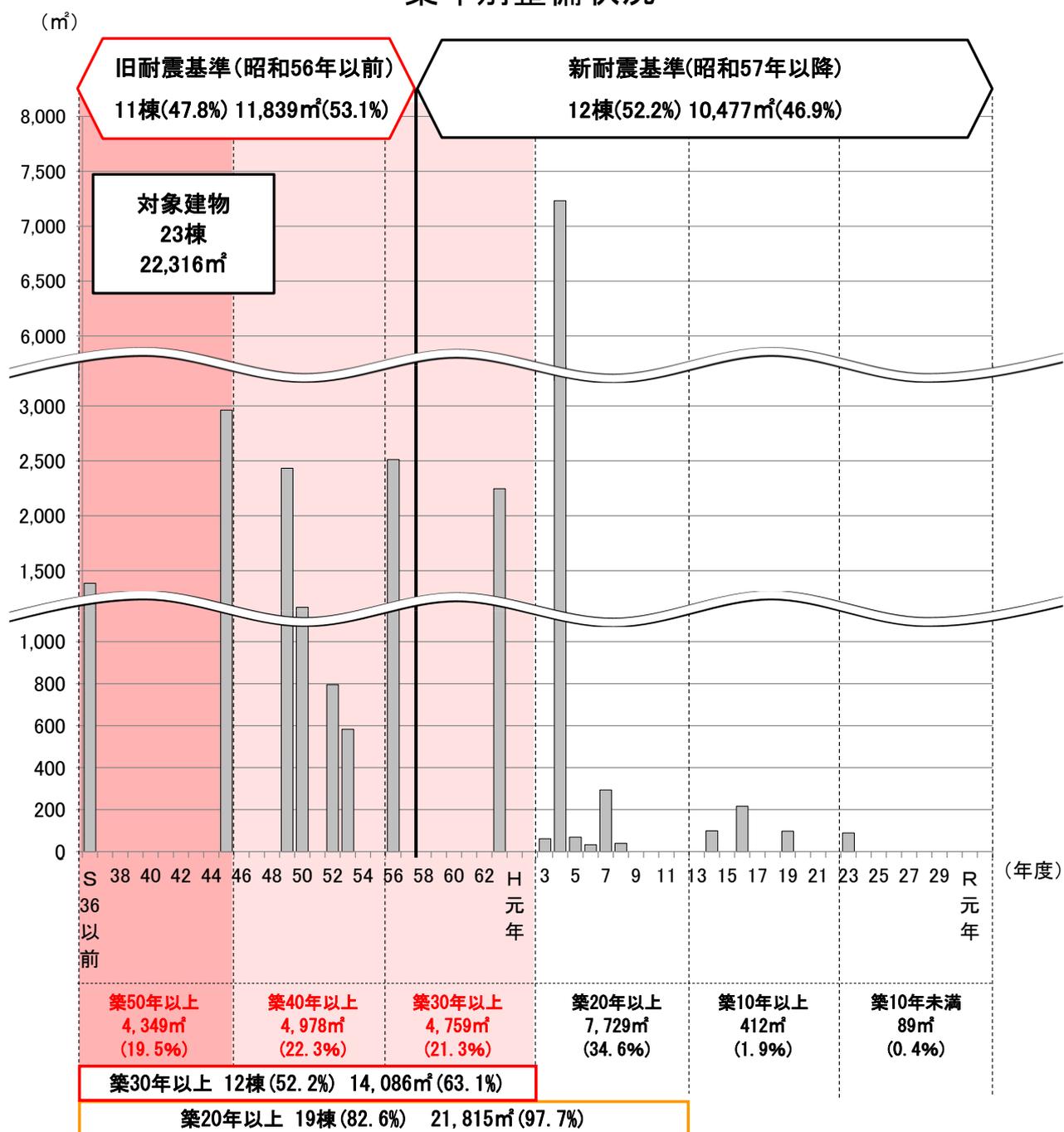
	H27	H28	H29	H30	H31	合計	平均
施設整備費	47,333,592	18,689,508	162,693,360	46,644,822	129,245,339	404,606,621	80,921,324
維持修繕費	6,943,843	7,059,497	6,742,089	5,390,236	5,202,934	31,338,599	6,267,720
燃料費	21,318,711	21,752,261	25,970,952	30,413,441	28,505,712	127,961,077	25,592,215
光熱水費	28,753,251	30,596,694	29,501,152	30,818,746	29,616,443	149,286,286	29,857,257
委託料	108,947,842	111,559,930	84,018,384	89,937,302	105,618,518	500,081,976	100,016,395
合計	213,297,239	189,657,890	308,925,937	203,204,547	298,188,946	1,213,274,559	242,654,912

5) 社会教育施設の保有状況

計画対象の36社会教育施設のうち、中心躯体となる23棟では、22,316 m²を有していますが、その内の14,086 m²（約63.1%）が築30年以上となり、老朽化が進んでいます。

また、4,349 m²（約19.5%）が築50年以上となり建替えの時期を迎えていることから、大きな費用負担が見込まれます。

築年別整備状況

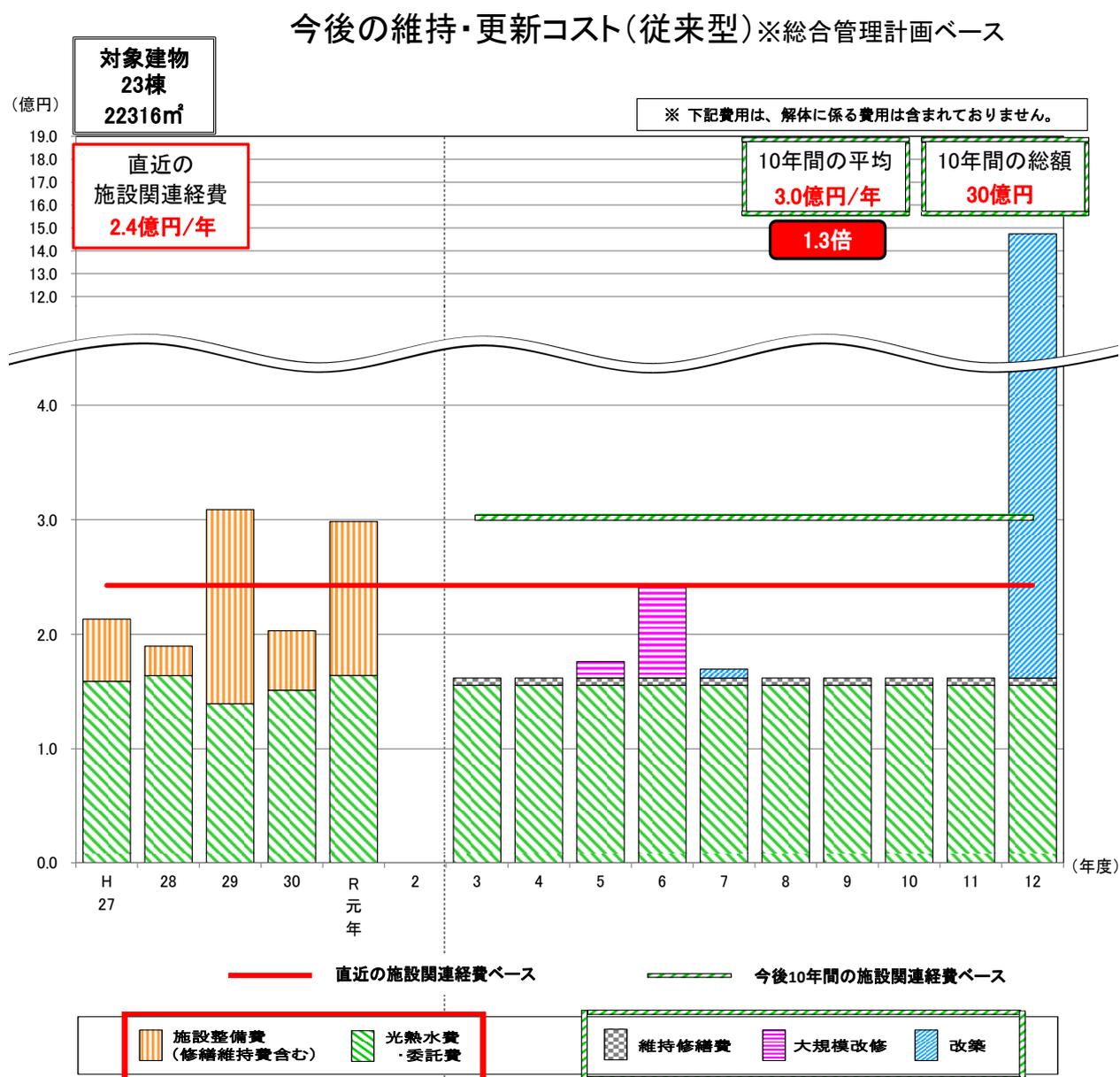


6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

50年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後10年間のコストは3.0億円／年が見込まれます。

これは、直近5年間の投資的経費2.4億円／年を1.25倍上回ります。

また、令和3年度から令和12年度までの10年間では、大規模改修などにより投資的経費の約1.3倍のコストが見込まれ、従来の建替え中心の整備を継続することは困難であるとことから、対応策を検討する必要があります。



② 社会教育施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価します。

目視による評価

【屋根・屋上、外壁】

良好 劣化	評価	基準
	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合の兆し）
	D	早急に対応する必要がある。 （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

【社会教育施設】

建築物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し番号	施設名	用途区分		構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
		種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分						
1	総合文化会館（公民館）	その他	その他	RC	3	7,233	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	D	B	B	C	54
2	図書館	その他	その他	RC	3	2,433	1974	S49	46	旧	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	C	C	56
3	図書館バス車庫	その他	その他	S	1	33	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
4	歴史と自然の資料館	その他	その他	W	1	904	1942	S17	78	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
5	和田屯田記念館（和田屯田兵村の被服庫）	その他	その他	W	1	165	1885	S-40	135	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
6	歴史と自然の資料館付属収蔵庫(西和田)	その他	その他	RC	2	756	1977	S52	43	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
7	歴史と自然の資料館付属収蔵庫(西和田)	その他	その他	RC	1	297	1978	S53	42	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
8	別当実夢原館	その他	その他	RC	2	1,167	1975	S50	45	旧	済	-	H24	H25.7	長寿命	C	C	C	B	B	49
9	旧駒場児童館	その他	その他	W	1	286	1978	S53	42	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	-	45
10	青少年センター	その他	その他	RC	2	2,963	1970	S45	50	旧	済	-	-	-	改築	C	C	B	C	C	53
11	歯舞スポーツセンター	その他	その他	RC	2	2,512	1981	S56	39	旧	済	済	H21	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
12	市営アイスホッケーリンクハウス	その他	その他	S	1	89	2011	H23	9	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
13	屋内相撲場	その他	その他	S	1	97	2007	H19	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	-	92
14	温水プール	その他	その他	RC	2	2,247	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	D	67
15	武徳殿	その他	その他	W	1	317	1961	S36	59	旧	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
16	総合運動公園管理棟	その他	その他	RC	1	216	2004	H16	16	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	A	A	A	78
17	総合運動公園管テニスコートクラブハウス	その他	その他	RC	1	99	2002	H14	18	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
18	パークゴルフ場管理棟	その他	その他	RC	1	69	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
19	パークゴルフ場ユニットハウス	その他	その他	W	1	39	1996	H8	24	新	-	-	-	-	改築	D	D	C	B	-	33
20	総合運動公園スケートリンクハウス管理棟	その他	その他	W	2	173	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
21	総合運動公園スケートリンクハウス機械倉庫	その他	その他	S	1	121	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
22	ゲートボール場管理棟	その他	その他	W	1	61	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
23	市営テニスコートクラブハウス	その他	その他	W	1	39	1977	S52	43	旧	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	C	D	25

※P5 対象施設のうち、建築物を調査・評価したもの

(4) 社会教育施設整備の基本的な方針等

① 社会教育施設の長寿命化計画の基本方針

根室市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏襲し、次のとおり基本方針とします。

社会教育施設の長寿命化計画の基本方針
・施設全般に係る基本的な方針
<ul style="list-style-type: none"> ○保有総量（総床面積）の縮小を図る 目標は15%削減 ○利活用が見込めない施設は解体を基本 ○新規の施設整備は、複合化・集約化、廃止・統合を基本 ○建替えの場合は、現有面積を基本 ○適宜点検・診断を実施し、予防的な修繕により施設の健全性を維持しながら長寿命化を図る
必要な公共サービスの再構築
<ul style="list-style-type: none"> ○施設が果たしている役割や機能を再確認するとともに、更新等に際しては社会情勢の変化に応じた機能転換などについて検討を進める
協議の推進
<ul style="list-style-type: none"> ○様々なノウハウを持つ民間事業者の活力の活用について検討を進める ○公共施設にかかる問題意識の共有化を図り、市民とともに課題解決に取り組む
施設類型ごとの基本的な方針
<ul style="list-style-type: none"> ○教育文化施設について、少子高齢化等の社会的情勢を勘案した施設のあり方について検討を進める

（５）長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

今後の実施計画は、次に示す整備内容で設定します。

整備基準としては、長寿命化改修は、構造躯体の健全性が良好な施設とし、部位別改修は、緊急性を要する部位とし、社会情勢も見据えながら実施します。

整備内容			
長寿命化改修		建物劣化状況点検・評価に基づく健全度の低い施設から優先的に対応	
部位改修	躯体等への対応	屋根・屋上 外壁	D評価部位を優先的に解消
	施策等への対応	非構造部材	D評価部位を優先的に解消
	設備等への対応	キュービクル 空調	D評価部位を優先的に解消
その他屋外施設及び附帯施設		これまでの実績を基に計画的に整備	
修繕費・その他経費		これまでの実績を基に計画的に対応	

② 長寿命化のコストの見直しとその効果

今後の施設の維持・更新コストは、全ての施設を長寿命化すると今後10年間のコストは6.0億円／年が見込まれ、直近5年間の投資的経費2.4億円／年を2.5倍上回り、人口が減少する中で施設の維持・更新費用が増加するという矛盾を抱えていることから、施設保有のあり方や、維持・更新コストの削減及び財源確保は大きな課題となります。

個々の施設の長寿命化だけでは限界があることから、施設の配置や規模、運営面・活用面等に及ぶ多面的な見直しが必要であり、適正化に向けた総合的な取組の方針を明確にする必要があります。

③ 長寿命化計画の見直し

本計画は、根室市総合計画及び根室市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）との整合性を図るなかで、年次及び個別の事業費を精査し、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら見直すものとします。

④ 継続的運用方針

1) 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するに当たり、社会教育施設の状況などをデータとして蓄積し、適切な時期に更新することが重要となることから、下図の情報を適切に管理し、社会教育施設の状況を把握することで、今後の改修内容や時期を総合的に判断します。

また、各データは、施設状況に変化が生じた際や、改修、各種定期点検の報告などが行われた際に適宜更新するほか、毎年度、更新の有無を含め内容を確認します。

情報基盤	内 容 等
公有財産台帳	社会教育施設の基本情報
施設別営繕履歴	改修、修繕の履歴（台帳）
定期、法定点検報告	点検時の指摘事項等
劣化状況調査結果	施設の劣化状況及び相対的な老朽度の評価（概ね5年更新）

2) 推進体制等の整備

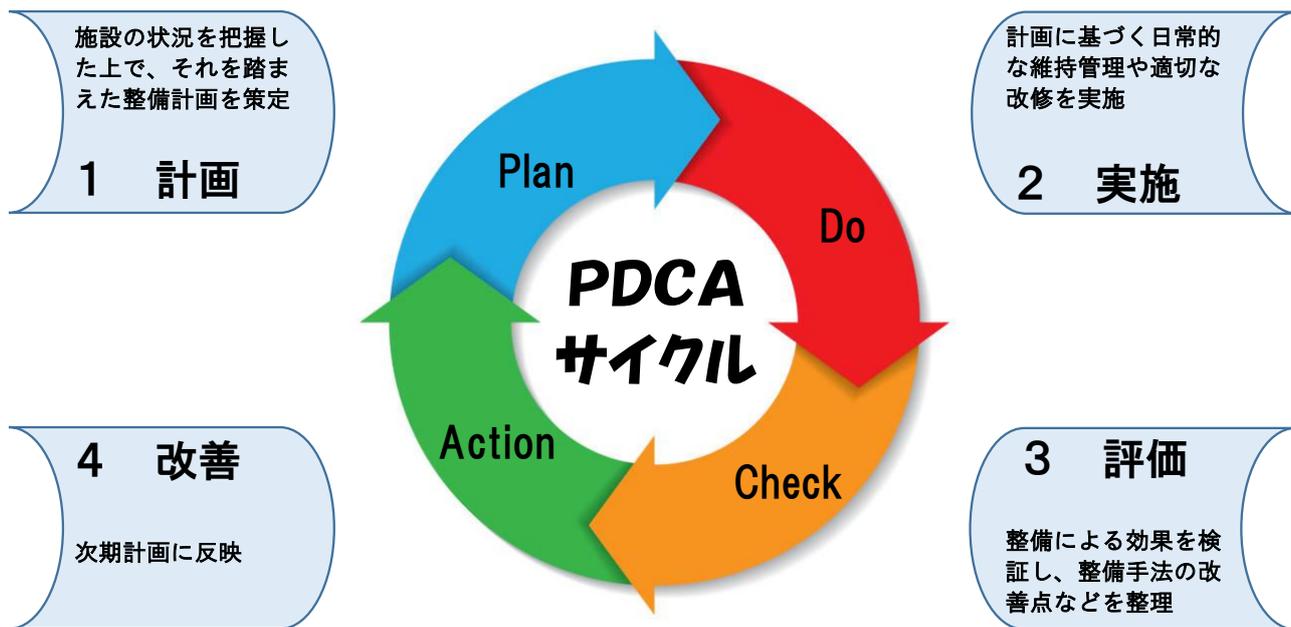
本計画策定後も、社会教育施設の老朽化が進行する一方で、施設の役割は、社会教育の場のみならず、地域コミュニティ活動、災害対応（避難所）も求められ、その機能や基準も変わっていくことが想定されます。

したがって、これら社会教育施設の状況を把握し、多岐に渡る役割や機能の維持と課題の解決に向けては、教育委員会はもとより、関係部署との連携は欠かせないことから、本計画に基づき、長寿命化を確実に実現するため、より一層の連携を図り、充実・強化させることとします。

3) フォローアップ

本計画に基づき、効率的かつ効果的に社会教育施設整備を進めていくためには、PDCAサイクルを確立することが重要となります。

また、本計画は、社会教育施設の改修などの優先順位を設定しつつ、市総合計画及び上位関連計画策定の中で協議、検討を行い、本計画事業を精査していくとともに、計画事業の進捗状況、上図の情報基盤から得られる老朽化に関する状況・評価など、利用状況を踏まえた上で必要に応じ見直しを行います。



根室市社会教育施設の長寿命化計画
(個別施設計画)

策定者 根室市教育委員会

策定年月 令和3年3月